

戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）第2期／  
自動運転（システムとサービスの拡張）／  
自動運転の実現に向けた情報発信力の強化に係る調査

# 最終成果報告書 概要版

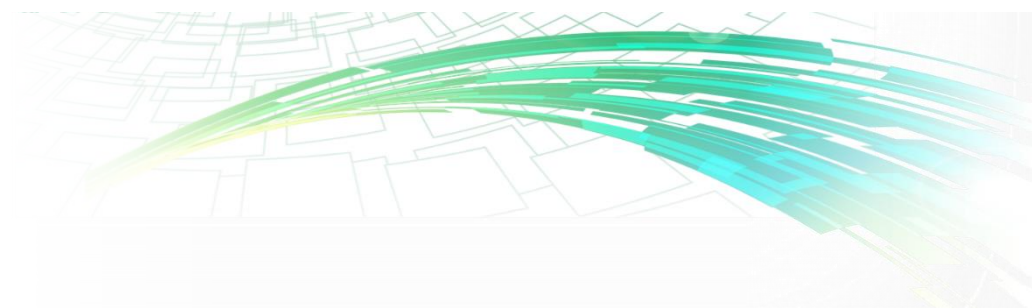
2023年3月

株式会社 コングレ



## 目次

|                             |    |
|-----------------------------|----|
| 1. 事業の目的                    | 2  |
| 2. SIP-adus Workshop2022の開催 | 3  |
| 2-1. 開催の概要                  | 3  |
| a. 総括                       | 3  |
| b. Plenary Session          | 4  |
| c. Breakout Workshop        | 5  |
| d. パネル展示                    | 6  |
| e. オンデマンド配信                 | 8  |
| 2-2. 成果検証                   | 9  |
| 3. ウェブサイトを通じた情報発信           | 16 |
| 3-1. 情報発信の概要                | 16 |
| 3-2. 効果検証                   | 17 |
| 4. 結び                       | 22 |



## 1. 事業の目的

本調査事業は、以下の2点を目的として実施されました。

### SIP自動運転における国際連携

内閣府は2014年度からSIP-adus (SIP Automated Driving for Universal Service) 事業において、交通事故の低減や交通渋滞の緩和、地方部等における高齢者などの交通制約者の移動手段の確保、といった社会課題の解決を推進しています。また、2018年度から今年度を最終年度として実施したSIP第2期では、自動運転を高速道路から一般道へ拡張するとともに、自動運転技術を活用した物流・移動サービスの実用化を推進してきました。

この研究開発の柱として、Ⅰ. 自動運転システムの開発・検証(実証実験)、Ⅱ. 自動運転実用化に向けた基盤技術開発、Ⅲ. 自動運転に対する社会的受容性の醸成とならんで、Ⅳ. 国際連携の強化があります。

SIP-adusの国際連携ワーキンググループでは、二国間・多国間の共同研究を進めていますが、本事業においても、国際連携を強化し、国際標準化を推進するものとして、「SIP-adus Workshop」を定期的を開催し、国内外専門家の情報交流や共同研究の場を提供してきました。

### 情報発信の強化と成果検証

自動運転を社会で実用化するためには、情報発信力を強化し、得られた意見や反応を今後の研究開発の推進に向けて活用することが重要になります。本事業では、「SIP-adus Workshop」開催後に参加者へのアンケートを実施し、参加者意見の集約・検証結果を、以降のプログラム編成の参考として提供してきました。

また、SIP-adus ウェブサイトからの情報発信を積極的に行い、「SIP-adus Workshop」開催内容や、SIP-adusが推進する研究開発の報告書、SIP-adusに関連して開催したイベントの報告、東京臨海部等で実施した大規模実証実験の情報等をタイムリーに更新してきました。さらに、年間を通じてウェブサイトのサイトビジットを測定し、ウェブサイトからの情報発信の効果を検証しました。



## 2. SIP-adus Workshop2022の開催

### 2-1. 開催の概要

#### a. 総括

SIP-adus Workshopは、自動運転技術の発展と普及をめざし、2014年から継続して開催されてきました。SIP第2期の最終年度に当たる本年は、同志社大学のご協力を得て京都で4日間にわたり開催されました。

2022年10月10日（月）～12（水）には、米欧日代表による拡大版パネルディスカッション（招待者のみ）、テーマ毎に研究内容や進捗状況を共有するPlenary Sessionの他、パネル展示、自動運転車両の紹介などを京都の同志社大学寒梅館で実施し、これまでの取組みを総括して世界へ発信することができました。10月13日（木）には、Breakout Workshop（招待者のみ）をANAクラウンプラザホテル京都で実施し、国内外の専門家による活発な議論が展開されました。

2020年、2021年は、COVID-19感染症拡大のため海外スピーカーの現地招へいが叶いませんでしたが、本年は、水際対策制限の緩和により再び海外18の国と地域から99名の専門家・研究者を迎えることが可能となり、国内外のネットワークの醸成に貢献することができました。

京都での開催後は、多くの参加者からの要望に応じ、パネルディスカッションおよび全てのPlenary Sessionについて、2022年11月8日（火）～2023年3月24日（金）までウェブサイト上でオンデマンドによる配信を実施しました。

#### 概要

| SIP-adus Workshop2022 開催概要 |   |
|----------------------------|---|
| 主催                         | 内閣府総合科学技術・イノベーション会議 戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)自動運転推進委員会<br>国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)<br>一般社団法人モビリティ・イノベーション・アライアンス<br>同志社大学   |
| 会期                         | 2022年10月10日(月・祝)-13日(木)   |
| 会場                         | 同志社大学寒梅館(10月10日、11日、12日)、ANAクラウンプラザホテル京都(10月13日)  |
| 参加者                        | 19か国地域487名 うち海外から99名<br>(2021年度・オンライン開催: 23か国地域1,075名 うち海外から134名、<br>2020年度・オンライン開催: 29か国地域1152名 うち海外から137名、<br>2019年度・現地開催: 23か国地域511名 うち海外から89名、<br>2018年度・現地開催: 17か国地域516名、うち海外から88名)          |
| テーマ                        | Regional Activities<br>Human Factors<br>Impact Assessment<br>Japanese Government<br>Dynamic Map<br>Connected Vehicles<br>Cybersecurity<br>Safety Assurance<br>Service and Business Implementation |
| ウェブサイト                     | <a href="https://www.sip-adus.go.jp/evt/workshop2022/">https://www.sip-adus.go.jp/evt/workshop2022/</a>   |
| 来場メディア                     | 3社(日刊自動車新聞社、日経BP、フォーイン)   |

#### プログラム

|    | 10月11日(火)                          | 10月12日(水)   | 10月13日(木)<br>(招待者のみ)                                |
|----|------------------------------------|---|---|
| 午前 | 9:00~9:30<br>Opening Session       | 8:45~10:15<br>Dynamic Map                             |   |
|    | 9:30~11:00<br>Regional Activities  | 10:25~11:55<br>Connected Vehicles                     | 9:00~12:00<br>Breakout Workshop                     |
|    | 11:10~12:20<br>Human Factors       |   |   |
|    | Poster Session/Lunch               | Poster Session/Lunch                                  | Lunch   |
| 午後 | 14:00~15:30<br>Impact Assessment   | 13:30~14:40<br>Cybersecurity                          | 13:00~15:00<br>Breakout Workshop                    |
|    | 15:40~17:10<br>Japanese Government | 14:50~16:20<br>Safety Assurance                       |   |
|    | 17:20~17:50<br>Panel Discussion    | 16:30~18:00<br>Service and Business<br>Implementation | 16:30~18:00<br>Breakout Workshop<br>Summary Session |
|    |                                    | Closing Session                                       | Closing Session                                     |

## 2. SIP-adus Workshop2022の開催

### 2-1. 開催の概要

#### b. Plenary Session

10月11日（火）および10月12日（水）には、同志社大学寒梅館ハーディーホールにて、一般参加者を対象とした講演（Plenary Session）を実施しました。Opening Sessionでは、内閣府特命担当大臣（科学技術政策）、植木朝子氏（同志社大学学長）によるWelcome Speech、続いて、Vincent Gerard White氏（The United States Department of Transportation）、Andrea De Candido氏（European Commission - DG RTD）、Stefan Mengel氏（Federal Ministry of Education and Research, Germany）、葛巻 清吾氏（SIP自動運転（システムとサービスの拡張）プログラムディレクター）によるKeynote Speechを実施しました。その後、9つのセッションテーマについて、以下のように国内外から57名の政策担当者・専門家が講演を行いました。パネルディスカッションについては、10月10日（月）に招待者のみで拡大版を実施、10月11日（火）に一般参加者を対象とした総括を実施しました。質疑応答は、参加者の携帯端末からの投稿を受け、モデレーターによって選択された質問に対してスピーカーが答える方法を採用しました。登壇者の発表資料は、ウェブサイト上に即日掲載し、公開しています。

概要

単位：名

| Session 名                           | 開催日       | 時間            | モデレーター | 登壇者数 | うち海外 | うち国内 |
|-------------------------------------|-----------|---------------|--------|------|------|------|
| 拡大版パネルディスカッション                      | 10月10日(月) | 18:00 - 19:30 | 天野肇    | 3    | 2    | 1    |
| Opening                             | 10月11日(火) | 9:00 - 9:30   | -      | 6    | 3    | 3    |
| Regional Activities                 | 10月11日(火) | 9:30 - 11:00  | 梅田学    | 5    | 5    | 0    |
| Human Factors                       | 10月11日(火) | 11:10 - 12:20 | 北崎智之   | 4    | 3    | 1    |
| Impact Assessment                   | 10月11日(火) | 14:00 - 15:30 | 大口敬    | 5    | 4    | 1    |
| Japanese Government                 | 10月11日(火) | 15:40 - 17:10 | -      | 7    | 0    | 7    |
| Panel Discussion                    | 10月11日(火) | 17:20 - 17:50 | 木村裕明   | 3    | 2    | 1    |
| Dynamic Map                         | 10月12日(水) | 8:45 - 10:15  | 中條覚    | 5    | 3    | 2    |
| Connected Vehicles                  | 10月12日(水) | 10:25 - 11:55 | 三角正法   | 5    | 4    | 1    |
| Cybersecurity                       | 10月12日(水) | 13:30 - 14:40 | 平井康雅   | 4    | 2    | 2    |
| Safety Assurance                    | 10月12日(水) | 14:50 - 16:20 | 佐藤秀亮   | 5    | 4    | 1    |
| Service and Business Implementation | 10月12日(水) | 16:30 - 18:00 | 外山友里絵  | 5    | 4    | 1    |
|                                     |           |               | 合計     | 57   | 36   | 21   |



## 2. SIP-adus Workshop2022の開催

### 2-1. 開催の概要

#### c. Breakout Workshop

10月13日（木）には、ANAクラウンプラザホテル京都にて、国内外から専門家を募集し、7つのセッションテーマについて討議を実施しました。討議は非公開で行われ、最先端の内容を自由に議論する場として提供されました。

Breakout Workshopは、COVID-19感染症のため2020年は実施できず、2021年はオンラインのみで実施しましたが、本年は現地にて開催し、専門家の中で活発な議論が可能となったことは大きな成果です。

参加者の総数は159名で、現地開催した2018年（133名）、2019年（161名）と同程度となりました。特にSafety Assuranceのセッションでは、24名の海外参加者を含む57名が参加し、これまでにない大きな規模で開催されました。

#### 概要

単位：名

| Session 名                           | 領域リーダー | 参加者数 | うち海外 | うち国内 |
|-------------------------------------|--------|------|------|------|
| Safety Assurance                    | 佐藤秀亮   | 57   | 24   | 33   |
| Human Factors                       | 北崎智之   | 30   | 21   | 9    |
| Impact Assessment                   | 大口敬    | 20   | 11   | 9    |
| Service and Business Implementation | 外山友里絵  | 15   | 4    | 11   |
| Connected Vehicles                  | 小山敏    | 15   | 7    | 8    |
| Cybersecurity                       | 平井康雅   | 8    | 4    | 4    |
| Dynamic Map                         | 中條覚    | 14   | 4    | 10   |
|                                     | 合計     | 159  | 75   | 84   |



## 2. SIP-adus Workshop2022の開催

### 2-1. 開催の概要

#### d. パネル展示

10月11日（火）および10月12日（水）に、同志社大学寒梅館ハーディーホールのロビーにて25枚のパネル展示を行いました。パネル展示、動画上映のほか、ランチタイムにポスターセッションを設け、来場した説明員と見学者の間で意見交換を図りました。ウェブサイト上には、実際のパネル配置を表示し、会期中のポスターセッション会場案内図としても活用しました。全てのパネルイメージは、ウェブサイト上に公開しています。また、パネル展示の一環として、寒梅館入口に自動運転車両の展示を行いました。

#### 配置



#### 展示内容

| No.  | タイトル                                     |
|------|--|
| 1    | 仮想空間における自動走行評価環境整備手法の開発 I                |
| 2    | 仮想空間における自動走行評価環境整備手法の開発 II               |
| 3    | 日独連携プロジェクトVIVID及びASAM連携                  |
| 4    | インフラ協調型情報配信の実証実験                         |
| 5    | 広域公衆ネットワークを用いた情報配信の実証実験                  |
| 6    | 新たなサイバー攻撃手法と対策技術に関する調査研究及び日独連携プロジェクトSAVE |
| 7    | 日独連携及び日EU連携の枠組みについて                      |
| 8    | 一般社団法人モビリティ・イノベーション・アライアンスについて           |
| 9    | 自動運転による社会・経済に与えるインパクト評価と普及促進策に関する研究      |
| 10-1 | ポータルサイトを用いた交通環境情報の流通促進とビジネスマッチング         |
| 10-2 | ポータルサイトを用いた交通環境情報の流通促進とビジネスマッチング         |
| 11   | 京都楽モビコンテストについて                           |

| No. | タイトル  |
|-----|---|
| 12  | 社会的受容性の醸成に向けた調査と評価  |
| 13  | ダイナミックマップの国際標準化及び業界標準化活動                                  |
| 14  | 自動運転の高度化に則したHMI及び安全教育方法に関する調査研究                           |
| 15  | HMI分野における日独・日EU連携及び国際標準化活動                                |
| 16  | Society 5.0の実現に向けたSIP自動運転の取組/内閣府                          |
| 17  | 次期SIP設置に向けた取組/内閣府   |
| 18  | 自動運転の実現に向けた取組/警察庁   |
| 19  | 自動運転レベル4に向けた令和4年度道路交通法の改正/警察庁                             |
| 20  | デジタルを活用した交通社会の未来2022/デジタル庁                                |
| 21  | 協調型自動運転のユースケースを実現する5.9GHz帯V2Xシステムの通信プロトコルの検討/総務省          |
| 22  | 自動運転技術（レベル3、4）に必要な認識技術等に関する研究/経済産業省                       |
| 23  | 自動運転レベル4等先進モビリティサービス研究開発・社会実装プロジェクト（RoAD to the L4）/経済産業省 |
| 24  | 中山間地域における自動運転サービス/国土交通省道路局                                |
| 25  | 自動運転の実現に向けた取組/国土交通省自動車局                                   |

## 2. SIP-adus Workshop2022の開催

### 2-1. 開催の概要

#### d. パネル展示

#### パネル展示イメージ

**SIP-adus Workshop 2022**  
Preparations for the Next-Phase SIP

**Next-Phase SIP**

- After the second phase SIP FY2018-2022, a next-phase SIP starts in FY2023.
- Targets of SIP:
  - "Society 5.0" oriented
  - the development and utilization of innovative technologies
  - the reform of social systems
  - transcend the boundaries of conventional industries and fields
- Projects to complement ongoing projects by ministries or industries
- Develop key technologies, make common systems or rules, as a hub for industry-academia-government and cross-ministerial collaboration.
- Under the PD candidate, conduct FS on preliminary areas in cooperation and draft R&D plan to be finalized in FY2022.

**15 preliminary target areas of the Next-Phase SIP**

15 preliminary SIP target areas under study by TF's

**Concept of Smart Mobility Platform**

From the perspective of moving people and goods, dynamically integrate transportation method (small mobility, automated driving, Maas, drone, etc.) and traffic environment (hard/soft infrastructures) and construct a platform that realizes safe, environment friendly and seamless mobility.

**SIP-adus Workshop 2022**  
National Research Project on Automated Driving to realize Society 5.0

**Outline**

SIP-adus  
Automated driving for universal service  
Cross-ministerial Strategic Innovation promotion Program

SIP 2nd FY2018~FY2022  
One of 12 SIP themes

**Data convergence**  
High degree of convergence between cyberspace and physical space

**Economic advancement**  
Solution of social problems  
Provision of products and services that are needed to the people that need them at the time they are needed

**New society "Society 5.0"**

Human-centered society in which anyone can enjoy a high quality of life full of vigor

**ADS (Automated Driving Systems)**  
Safe and secure mobility for all

**Realization of Society 5.0**

**Competition**

**Cooperation**

**SIP**

- Technology
  - Dynamic Map
  - Safety Assurance
  - Cybersecurity
  - etc.
- International cooperation /Standardization
- Public acceptance
- Deregulation/Regulatory reform

#### ポスターセッション



#### 自動運転車両の展示





## 2. SIP-adus Workshop2022の開催

### 2-1. 開催の概要

#### e. オンデマンド配信

会期終了後、10月10日（月）に実施した拡大版パネルディスカッションおよび全てのPlenary Sessionの録画を日・英両言語でオンデマンド配信しました。初回は11月8日（火）～1月27日（金）に実施、要望に応じて2023年2月16日（木）～3月24日（金）に再配信し、2回にわたり実施しました。配信は、Plenaryスピーカー、Breakout Workshop参加者、参加登録済の一般参加者を対象とし、配信期間中も新規参加登録を受け付けました。

Plenary Session オンデマンド配信

|    | Tuesday<br>October 11                 | Wednesday<br>October 12             |
|----|---------------------------------------|-------------------------------------|
| AM | Opening Session                       | Dynamic Map                         |
|    | Regional Activities                   | Connected Vehicles                  |
|    | Human Factors                         |                                     |
| PM | Impact Assessment                     | Cybersecurity                       |
|    | Japanese Government                   | Safety Assurance                    |
|    | Panel Discussion (October 11, (Tue.)) | Service and Business Implementation |
|    | Panel Discussion (October 10, (Mon.)) | Closing                             |

Plenary Session オンデマンド配信

The screenshot shows the website interface for the Plenary Session On-Demand Distribution. It features a grid of sessions categorized by date (October 10, 11, 12) and time (AM, PM). A red box highlights the 'Panel Discussion (October 10, (Mon.))' session in the table. Below the table, there is a list of speakers for the highlighted session, including their names, titles, and brief biographies. Each speaker entry includes a video link icon.

## 2. SIP-adus Workshop2022の開催

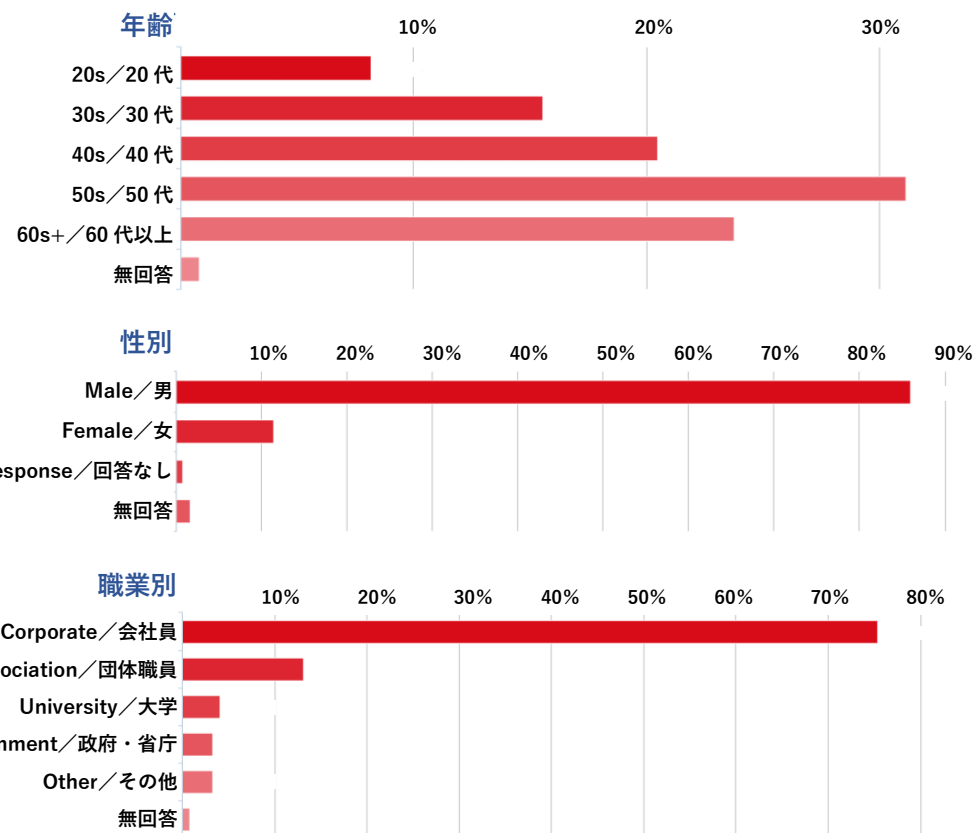
### 2-2. 成果検証

#### 概要

SIP-adus Workshop2022の参加者に、Workshop全体、プログラム、展示等について、アンケートをとりました。参加者には、会場でのアンケート用紙、QRコードから読み取ったオンラインフォーム、後日メールでの依頼等、複数の方法で回答を依頼し、会場参加者の25%から回答を得られました。回答者のうち、41%がSIP-adus Workshop2022全体に関して「とても満足」と回答しており、会場開催であった2019年（28.5%）、2018年（37%）に比較しても、参加者の満足度が高いことが分かりました。また、これまでのSIP-adus Workshopの開催に対しては、59%が「研究やネットワークづくりに役立った」と回答しており、Workshopの開催意義が大きかったことが示されました。SIP-adus Workshopが日本、海外の政策、市場、技術の動向を入手し、共通の課題や対応方法について検討する場として評価されたことが認められます。

#### 参加者の属性

- ・ 50代が最も多く、40代から60代の参加者が大半をしめています。しかし、昨年に比較すると20代(2021年:4%)、30代(2021年:10%)が増加しており、大学での会場開催であったことも一因ではないかと考えられます。
- ・ 性別では、86.1%が男性となっており、男性の率が非常に高い傾向が見られます。しかし、女性の比率について、現地開催であった2019年(9%)に比較すると、僅かではありますが上昇していることも認められます。
- ・ 職業別では、全体の7割が会社員、続いて団体職員、大学、省庁関係となっており、例年と同じ傾向を示しています。

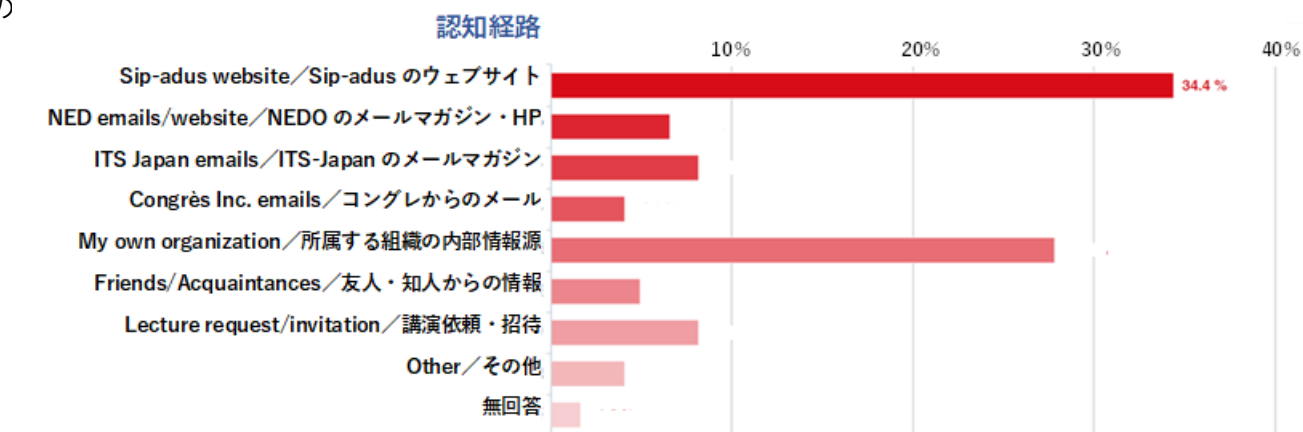


## 2. SIP-adus Workshop2022の開催

### 2-2. 成果検証

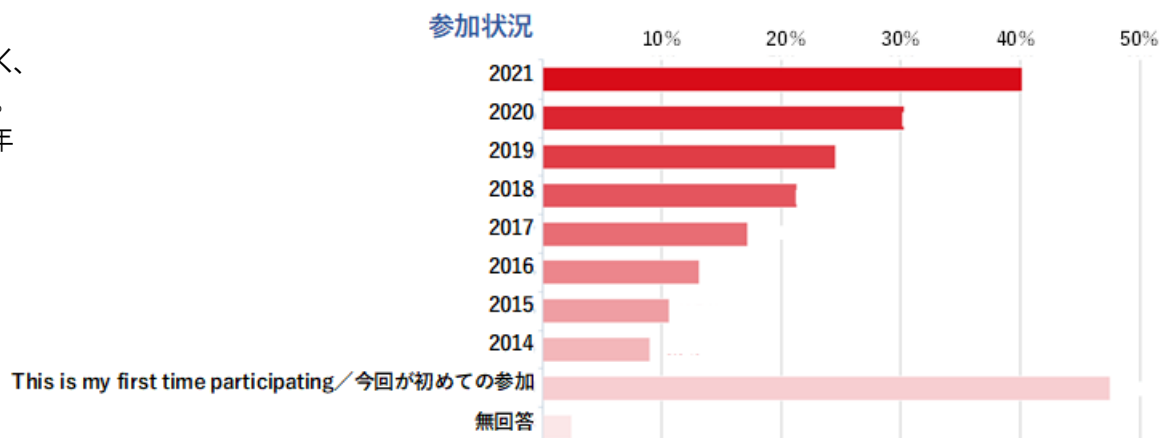
#### 認知経路および参加状況

・認知経路としては、SIP-adus ウェブサイト、所属する組織の内部情報が最も多く、例年と同じ傾向を示しています。



・過去参加者の中では、昨年からのリピート率が40.2%と最も高いことが分かります。

また、初めて参加した率が47.5%と、例年と比較するとやや多く、開催地を東京から京都へ変更したことも一因と考えられます。  
(初めて参加した率:2021年(39%)、2020年(34%)、2019年(40.5%)、2018年(42%))



## 2. SIP-adus Workshop2022の開催

### 2-2. 成果検証

#### Workshopの評価

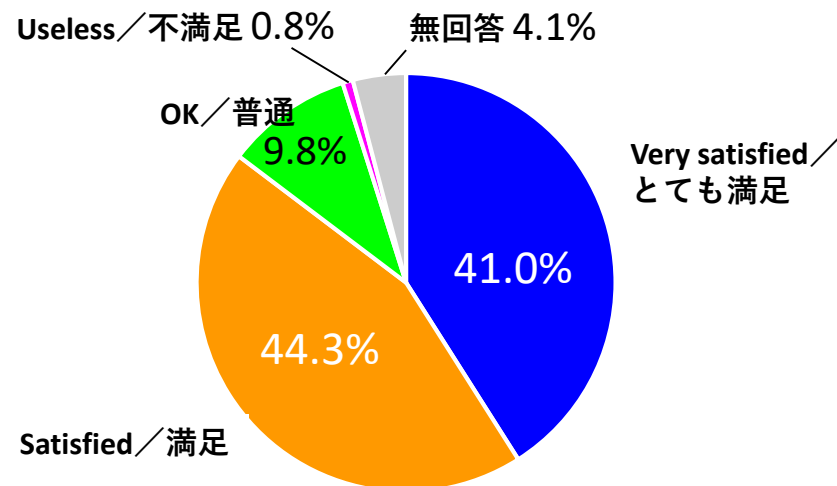
・SIP-adus Workshop2022全体に関して、最高評価(5段階評価のうち5と評価した人の割合)は、41%であり、会場開催であった2019年(28.5%)、2018年(37%)に比較しても、参加者の満足度が高いことが分かりました。

最高評価(5段階評価のうち5と評価した人の割合)

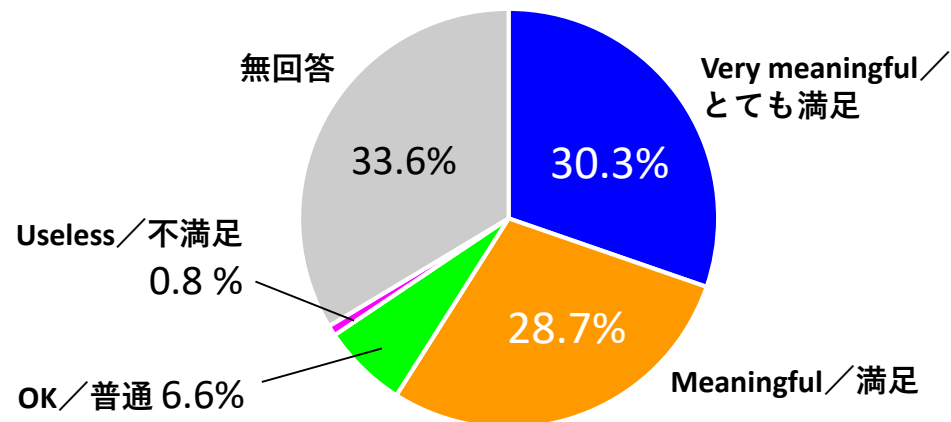
| 2022年 | 2021年 | 2020年 | 2019年 | 2018年 |
|-------|-------|-------|-------|-------|
| 41.0% | 38.5% | 47.5% | 28.5% | 37.0% |

・本年度がSIP第2期の最終年度であることから、過去にもSIP-adus Workshopに参加した方に対して、SIP-adus Workshopが研究やネットワークづくりに役立ったかを伺いました。  
59%の参加者が「とても満足」「満足」と回答しており、これまでのWorkshopの開催意義が大きかったことが示されました。

#### SIP-adus Workshop2022全体に関する感想 (満足度・印象)



#### SIP-adus Workshopは貴方の研究やネットワークづくりに役立ちましたか？



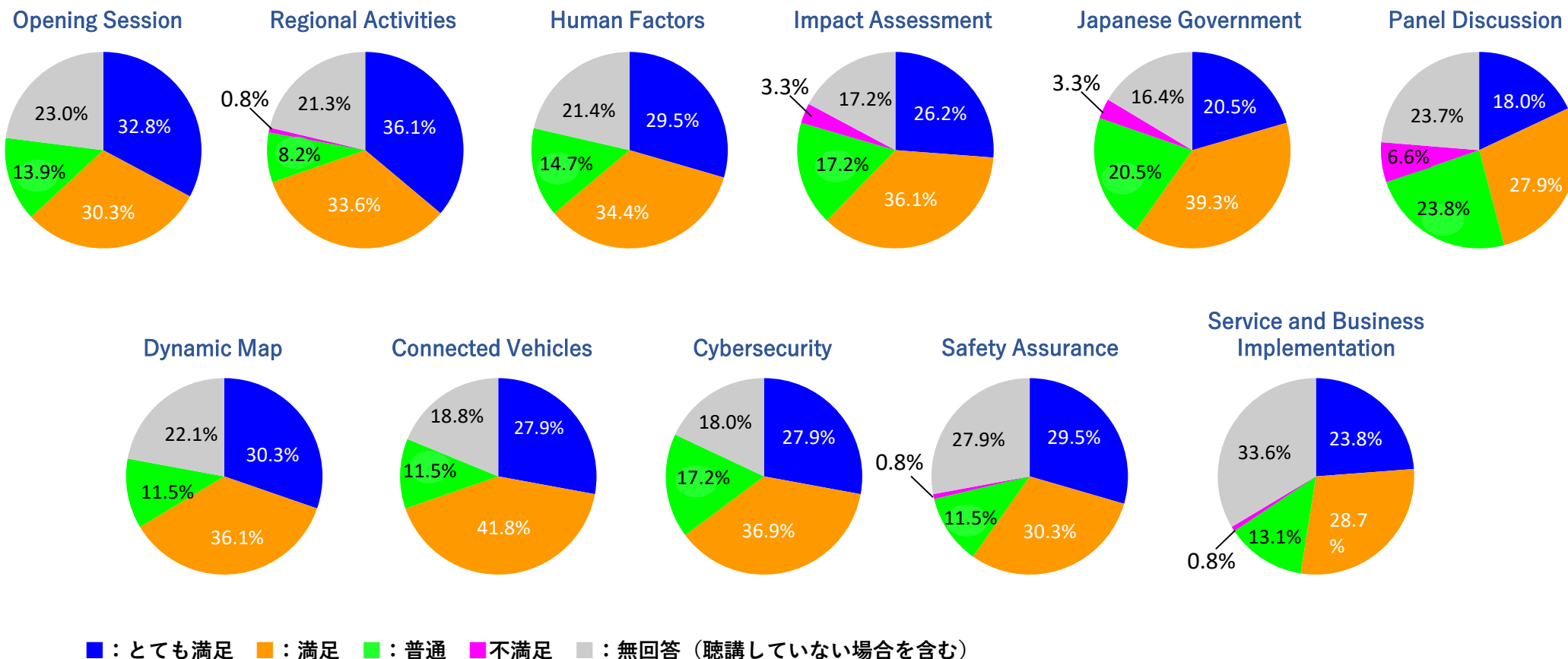
## 2. SIP-adus Workshop2022の開催

### 2-2. 成果検証

#### セッション別の評価 (Plenary Session)

Plenary Sessionでは、概ね全てのセッションで、「とても満足」「満足」の回答が50%を超えました。

「とても満足」と答えた参加者は、「Regional Activities(36.1%)」「Opening Session(32.8%)」「Dynamic Map(30.3%)」「Human Factors(29.5%)」のセッション順に多くなりました。

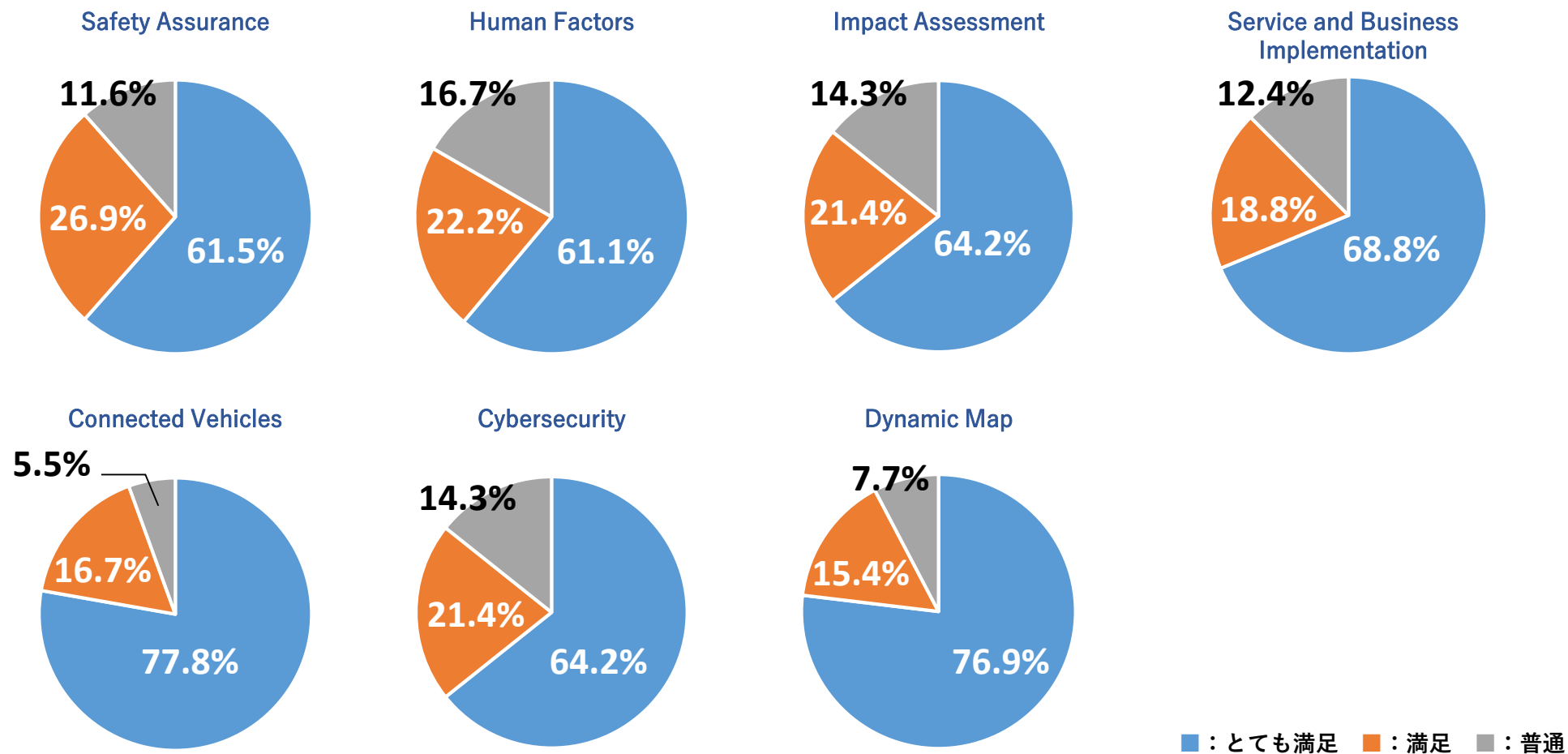


## 2. SIP-adus Workshop2022の開催

### 2-2. 成果検証

#### セッション別の評価 (Breakout Workshop)

Breakout Workshopでは、全てのセッションで「とても満足」「満足」の回答が80%を超え、参加者の評価は全体的に高いことが分かりました。「とても満足」と答えた参加者は、「Connected Vehicles(77.8%)」「Dynamic Map(76.9%)」「Service and Business Implementation(68.8%)」のセッション順に多くなりました。



## 2. SIP-adus Workshop2022の開催

### 2-2. 成果検証

#### 成果と課題

参加者の自由回答コメントからは、以下のような成果と課題が認められます。

1, SIP-adus Workshopは、自動運転の国際的で最新の動向を発信し、参加者の理解を深めることに役立ちました。

参加者からのコメント

- ・ 日本だけでなく米欧のエキスパートと会話することで、課題の共通点や対応方策、考え方、文化の違い等を知ることができた。
- ・ The presentations and discussions help understand the global research and policy trends.
- ・ 日本、欧州、アメリカの政策、市場動向情報を入手できた。
- ・ 日米欧の自動運転の開発状況と課題をまとめて知ることができ、関係者と旧交を温めることができる。

2, SIP-adus Workshopは、参加者のネットワーキング拡大に役立ちました。

参加者からのコメント

- ・ A lot of communication with speakers. This is good chance for information sharing.
- ・ The mixture of deep content in combination with their international perspectives (mainly Japan, Europe, US). the well selection of speakers, the selected thematic areas and the good opportunities for side meetings and networking .
- ・ EXCELENT Regional updates the content is technical and pragmatic. The breakouts foster good discussion.

3, セッションのスピーカー構成、スライドや配布資料については改善も求められます。

参加者からのコメント

- ・ Appropriate selection of topics and speakers, duration of presentations.
- ・ 日米欧の参加者(登録者)しかいない。それでよかったのか？
- ・ 次は中国+アジア(シンガポールなど)の状況も知りたいと思いました。
- ・ 字が小さくてわかりにくい。また量が多すぎるスライドがあった。外国の方のスライドのように分かりやすく作ってほしい。
- ・ 手元に全く資料がなくて、写真撮影も禁じられているのでやや消化不良です。オンラインの方がよかった？

4, ディスカッションや質疑応答の時間を増やし、参加者の疑問を解消する工夫が求められます。

参加者からのコメント

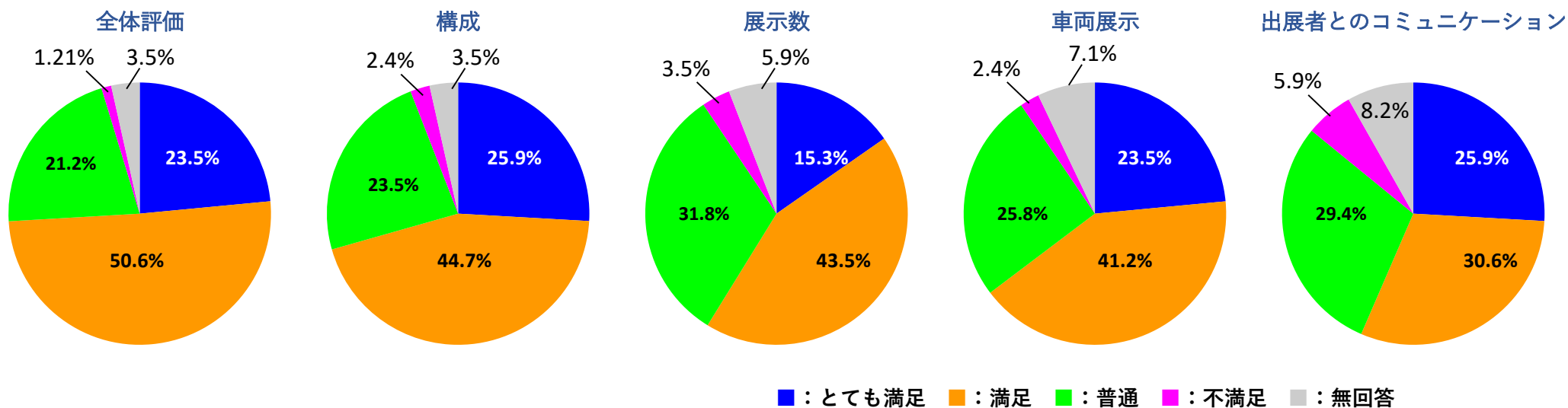
- ・ もう少しQAの時間が欲しかった。各トピックの中で同じようなプレゼンが続くこともあるのでモデレータの方にもう少し全体像とプレゼン間の関係を説明してもらえるとプレゼンがわかりやすくなると思います。
- ・ SIP最終とのことでしたが、すべてがクリアされたわけじゃない。どうされるのか？と率直に思った。
- ・ わが国としてどうしていくのかについては少しでよいからITS世界会議よりは踏み込んだ中身の話が聞ければよかった。

## 2. SIP-adus Workshop2022の開催

### 2-2. 成果検証

#### パネル展示に対する評価

SIP-adus Workshop2022の参加者の69.7%が展示を見ている。「とても満足」「満足」の評価について、全体評価は74.1%、展示の構成は70.6%、展示数は58.8%、車両展示は64.7%、出展者とのコミュニケーションは56.5%となっており、非常に好評であったことが認められます。



参加者から寄せられたコメントからは、セッションとのつながりを意識した展示の構成や配置が求められる等、課題も認められました。

#### 参加者からのコメント

- ・どのセッションと関わりが深いかわかる様にして頂けると尚良かった気がします。
- ・Some topics were missing connectivity.
- ・誰が説明員かわかりにくかった。せめてポスターの目の前にしてほしい。
- ・More exhibitions are good.
- ・展示員ともう少し話を聞きたかったが、他の方と話していたり、そもそもいない場合もあったので、なかなか聞くことができなかった。



## 3. ウェブサイトを通じた情報発信

### 3-1. 情報発信の概要

#### 概要

本事業では、年間を通じて研究開発、国際連携&イベント、実証実験の各ページを継続的に更新し、SIP-adus 事業の広報に注力しました。また、SIP-adus Workshop2022の特設ページを開設し、開催に関する各種の情報発信を積極的に行いました。

#### 研究開発ページの更新

以下4テーマごとに関係各機関の報告書を掲載し、適宜更新しました。

- 自動運転システムの開発・検証(実証実験)
- 自動運転実用化に向けた基盤技術開発
- 自動運転に対する社会的受容性の醸成
- 国際連携の強化

#### 国際連携&イベントページの更新

日本語ページに「自動運転LIVE News」の開催案内を継続的に掲載、英語ページには、「Priority themes for International Cooperation」の項目で、最新の研究内容を掲載しました。

#### 実証実験ページの更新

実証実験のエリアごとに、走行期間及び台数、実験参加者と実証実験車両の情報を毎月更新しました。2022年12月の実験の終了に伴い、現在は実験の詳細を削除しています。

#### SIP-adus Workshop2022ページの更新

SIP-adus Workshop2022開催に関して、以下のように情報発信を行いました。

- ・SIP-adus Workshop2022ページの立ち上げ(2022年5月23日)
- ・プログラム、講演者情報等の掲載
- ・参加登録開始(2022年7月27日)
- ・パネル展示ページ新設(2022年9月28日)
- ・Workshop本番終了後の対応
  - 講演資料の掲載
  - 記念ビデオ、写真掲載(Plenary講演者, BW参加者 対象)
  - オンデマンド配信(2022年11月8日~2023年3月24日)



### 3. ウェブサイトを通じた情報発信

#### 3-2. 効果検証

##### 概要

Google Analyticsを使ったサイトビジットの検証では、SIP-adus ウェブサイトの各ページに、日英とも年度を通じて継続して閲覧者があったことが認められます。コンテンツを継続的に更新したことで閲覧者の興味を継続して獲得できたといえ、SIP-adus ウェブサイトが、SIP-adusの情報発信・広報ツールとして有効であったことが分かります。

また、メール配信で各種の広報を実施すると閲覧者が伸びたことから、ウェブサイトへの誘導も有効に実施できたといえます。

一方で、英語ページの閲覧者は日本語ページの閲覧者に比較して半数以下と少なく、コンテンツは日本語ページとほぼ同様のものを提供していることから、海外イベントにおける広報、海外関連サイトからのリンク依頼、SNSによる情報発信等、ウェブサイトへの誘導にはさらなる工夫が必要であると考えられます。

##### 研究開発ページの閲覧実績

SIP-adus ウェブサイトの4つの大項目のなかでは、最も閲覧数が多いページです。1月13日に、最終成果報告書(2018~2022)(日本語版)の掲載をメールで配信すると閲覧数が急増したことから、最終成果報告書およびメール配信による広報の意義が大きいことが分かります。



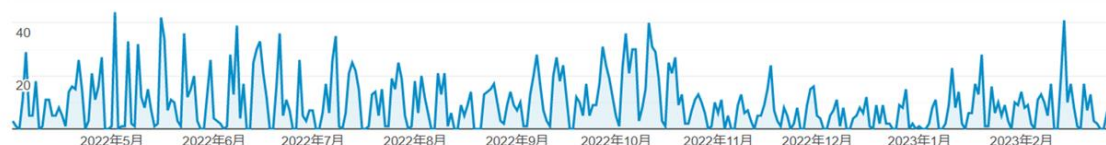
### 3. ウェブサイトを通じた情報発信

#### 3-2. 効果検証

##### 国際連携 & イベントページの閲覧実績

日本語ページに「自動運転LIVE News」の開催案内を継続的に掲載、英語ページには、「Priority themes for International Cooperation」で、最新の研究内容を掲載するなどの工夫により、年間を通じて閲覧者を獲得しました。

60 (日本語ページ) 年間ページビュー数 : 3,228



(英語ページ) 年間ページビュー数 : 1,283



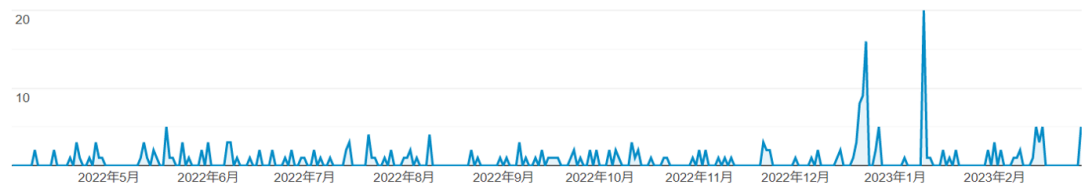
##### 実証実験ページの閲覧実績

日本語ページに、臨海副都心、羽田空港エリアにおける実証実験の予定詳細を毎月更新し、英語ページには、実証実験の概要を掲載することにより、特に日本語ページにおいて年間を通じて閲覧者を獲得しました。

60 (日本語ページ) 年間ページビュー数 : 2,242



(英語ページ) 年間ページビュー数 : 245



### 3. ウェブサイトを通じた情報発信

#### 3-2. 効果検証

##### SIP-adus Workshop2022ページの閲覧実績

Workshopの開催をピークとして、年間を通じて閲覧者が最も多かったことから、Workshopの開催が有意義であったことがわかります。

(日本語ページ) 年間ページビュー数：17,024



(英語ページ) 年間ページビュー数：7,321



### 3. ウェブサイトを通じた情報発信

#### 3-2. 効果検証

##### SIP-adus Workshop2022 オンデマンド配信ページの閲覧実績

オンデマンド配信が始まってからも継続して新規参加登録があったことから、オンデマンド配信が参加者にとって有意義なコンテンツであったことがわかります。また、オンデマンド配信のページビュー数が、参加登録者合計より多いことから、複数回閲覧した参加者もいたことがわかります。

(日本語ページ)期間中トップページビュー数 : **1,527**



| ▼各テーマページ総閲覧数 (11/8~3/7)             |     |
|-------------------------------------|-----|
| Opening Session                     | 607 |
| Regional Activities                 | 455 |
| Human Factors                       | 323 |
| Impact Assessment                   | 321 |
| Japanese Government                 | 446 |
| Panel Discussion(Oct. 10)           | 383 |
| Panel Discussion(Oct. 11)           | 282 |
| Dynamic Map                         | 287 |
| Connected Vehicles                  | 397 |
| Cybersecurity                       | 183 |
| Safety Assurance                    | 290 |
| Service and Business Implementation | 237 |
| Closing                             | 89  |

#### <参考>

- ・9月末参加登録締め切り時の一般参加登録者：617名
- ・オンデマンド配信期間中新規参加登録者：169名
- ・同志社大学会場参加の一般参加登録者：250名

#### <閲覧数400超のセッション>

- ・Opening Session
- ・Regional Activities
- ・Japanese Government

### 3. ウェブサイトを通じた情報発信

#### 3-2. 効果検証

##### SIP-adus Workshop2022オンデマンド配信ページの閲覧実績

英語ページでもセッションごとに一定数の閲覧者を獲得することができました。またメール配信により閲覧者が増えたことから、メール配信の意義が認められます。

(英語ページ)期間中トップページビュー数 : **208**



| ▼各テーマページ 総閲覧数 (11/8~3/7)            |     |
|-------------------------------------|-----|
| Opening Session                     | 112 |
| Regional Activities                 | 63  |
| human Factors                       | 36  |
| Impact Assessment                   | 27  |
| Japanese Government                 | 21  |
| Panel Discussion(Oct. 11)           | 62  |
| Panel Discussion(Oct. 10)           | 71  |
| Dynamic Map                         | 34  |
| Connected Vehicles                  | 29  |
| Cybersecurity                       | 32  |
| Safety Assurance                    | 51  |
| Service and Business Implementation | 27  |
| Closing                             | 34  |

#### <閲覧数50超のセッション>

- Opening Session
- Regional Activities
- Panel Discussion(Oct.11)
- Panel Discussion(Oct.10)
- Safety Assurance

| 閲覧国順    | 閲覧回数 |
|---------|------|
| 1 日本    | 83   |
| 2 ドイツ   | 16   |
| 3 韓国    | 16   |
| 4 フランス  | 4    |
| 5 中国    | 3    |
| 6 イギリス  | 3    |
| 7 インド   | 3    |
| 8 アメリカ  | 3    |
| 9 台湾    | 2    |
| 10 オランダ | 1    |

## 4. 結び

SIP-adus Workshopは、2014年から9回にわたり継続開催してきました。

その間、自動運転に関する最新の知見の提供や、ネットワークの形成に資する場として多くの参加者に認められ、国際連携の場として発展しました。また、SIP-adusウェブサイトも、研究開発の成果や実証実験の情報をリアルタイムで発信することで多くの閲覧者を獲得し、SIP事業の情報発信のツールとして大きな役割を果たしました。

### SIP-adus Workshopを通じた情報発信の成果

2020年、2021年とCOVID-19感染症拡大のためオンライン開催が続きましたが、本年は、京都・同志社大学での現地開催を実現することができました。海外からも18の国と地域から、36名のプレナリーセッションスピーカーを含む99名の専門家・研究者を迎えることができ、Breakout Workshopでは、対面での活発な議論が可能となったことは大きな成果です。

開催後に実施した参加者アンケートでは、参加者の41%がSIP-adus Workshop2022全体に関して「とても満足」と回答し、これまでのSIP-adus Workshopの開催に対しても、59%が「研究やネットワークづくりに役立った」と回答しており、Workshopの開催意義が大きかったことが示されました。

SIP-adus Workshopが日本、海外の政策、市場、技術の動向を入手し、共通の課題や対応方法について検討する場として評価されたことが認められます。

また、会場開催に続いてパネルディスカッションおよびプレナリーセッションのオンデマンド配信が実施されました。期間中、多くの新規参加登録があったことや、オンデマンド配信のページビュー数が、参加登録者合計よりも多かったことから、オンデマンド配信が参加者にとって有意義なコンテンツであり、時差や距離の問題で参加できなかった方々にもSIP-adus Workshopに参加いただく機会を提供できたことがわかります。

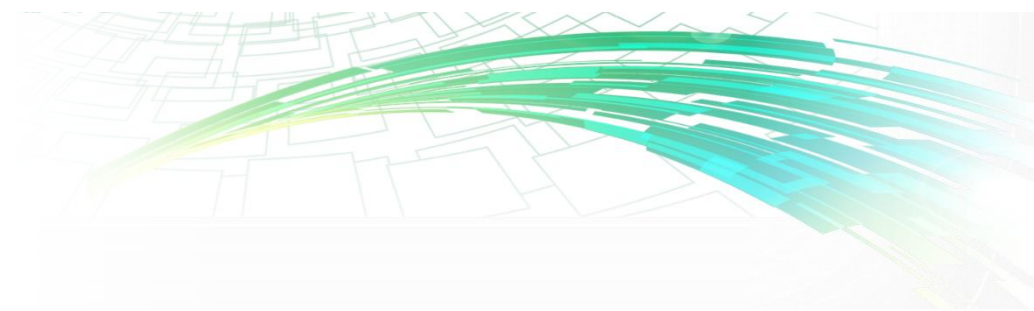
次年度以降は新しい組織に活動が引き継がれますが、対面およびオンラインでの交流を通じて、引き続き、自動運転分野での国際連携の発展が期待されます。

### SIP-adus ウェブサイトを通じた情報発信の成果

SIP-adusウェブサイト上で、SIP-adus Workshop2022に関連する情報のみならず、研究開発の成果や実証実験の実施計画、走行計画等を年間を通じてリアルタイムで発信しました。Google Analyticsを使ったサイトビジットの検証では、SIP-adus ウェブサイトの各ページに、日英とも年度を通じて継続して閲覧者があったことが認められます。閲覧者の興味を継続して獲得できたといえ、SIP-adus ウェブサイトが、SIP-adusの情報発信・広報ツールとして有効であったことが分かります。

また、メール配信等で各種の広報を実施すると閲覧者が伸びたことから、多方面からの情報発信に一定の効果があったと考えられます。

一方で、英語ページの閲覧者数は伸び悩んだことから、海外イベントにおける広報、海外関連サイトからのリンク依頼、SNSによる情報発信等、ウェブサイトへの誘導にはさらなる工夫が必要であると考えられます。



本報告書は、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)が管理法人を務め、内閣府が実施した「戦略的イノベーション創造プログラム (SIP) 第2期 / 自動運転 (システムとサービスの拡張) 」(NEDO管理番号：JPNP18012)の成果をまとめたものです。